

熊本県高等学校駅伝競走大会・熊本県高等学校女子駅伝競走大会開催に伴う
新型コロナウイルス感染防止対策等（ガイドライン）について

熊本県高等学校体育連盟駅伝専門部

1 駅伝開催の基本注意事項

(1) 徹底した感染症予防策の実施

3密を避ける競技運営、ソーシャルディスタンスを確保した会場計画（できるだけ2m 最低1mを目安に）・体調不良者、感染者、濃厚接触者を参加させない選手の健康管理（厚生労働省：新しい生活様式）（日本スポーツ協会：スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン）

(2) 駅伝開催にあたっての配慮事項

参加選手、チーム関係者、競技役員、大会役員などへの感染症対策に対する各種注意事項・必要に応じて大会要項・競技注意事項に記載する。

(3) 参加選手、チーム関係者・大会/競技役員・メディア、大会運営関係

者に感染者、濃厚接触者、感染疑い者の参加・従事の可否については、原則として行政、学校や企業等の所属の対応方針を優先する。

① 感染者への対応

大会開催日の3週間前の時点、もしくはそれ以降にPCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、当該選手は参加を辞退するまたは、主催者による出場権利の取り消しを行う。

② 濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場を認めても構わない。

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」厚生労働省（2020年5月25日）

③ 感染疑い者への対応

大会開催3週間前の時点、もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、インフルエンザ等の新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもある為、原則当該選手は参加を辞退する。または、主催者による出場権利の取り消しを行う。

④ 競技役員、大会役員などが65歳以上の方、基礎疾患を有する方の場合、重症化するリスクが高いため原則参加を自粛してもらう。

⑤ 選手は競技を行っている時以外はマスクを着用する。

【注意】炎天下の活動時におけるマスクの着用について

・気温31度以上の環境（※3）においてマスクの着用はせず3密回避、ソーシャルディスタンスの確保等の感染症予防対策を徹底する。

・諸室等の空調の効いた密閉空間ではマスクを着用する。

（※3 日本スポーツ協会熱中症予防運動指針 気温31度以上：厳重警戒、35度以上原則中止）

・マスクはウイルスが付着する可能性があるため、各自が持ち帰り廃棄をする。

※マスク回収のゴミ箱は設置しない。

2 参加について

- ①以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせをすること。
 - ・体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・大会当日までの1週間内に、37.5℃以上の発熱が3、4日続いた日があった者。
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府からの入国制限・入国後の観察期間を必要とされている国や地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ②マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等の、スポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
（各学校でアルコール消毒可能なものを準備しておくこと）
- ④他の参加者、主催スタッフとの距離（できるだけ1m以上）を確保すること
（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと（競技場内・チーム待機場含む）
- ⑥感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑦大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

2 競技場内で注意すること

- ①チーム待機場については、他校（チーム）と3m以上の距離を確保し、チーム内でも個人の距離を1m以上確保すること。なお、待機場は3階以上のスペースとする。
- ②各トイレの手指乾燥機は使用しない。
- ③各ドアノブ等（トイレ含む）に接触する前後は手指を洗うか、消毒するか、どちらかの対策を行うこと。
- ④大声での応援は、個人・集団どちらも禁止（スタンドはもちろんそれ以外でも）
- ⑤スタンドで観戦する場合は、1m以上（座席1つ分程度）は空けること。
- ⑥ゴミは必ず持ち帰ること
- ⑦ウォーミングアップ・競技中以外はマスクを着用すること。

3 各顧問の先生方へ

- ①競技場に入る前に検温の確認を行うこと。
- ②体調不良者には帰宅を促すこと。
- ③参加者の状態を把握するため、入場時、3階正面ゲート受付にて、健康管理に関する学校受付を実施する。受付（報告）をしない場合は、参加を認めない場合があるので注意すること。同時に5に記載の書類を提出すること。
- ④チーム待機場の確認を随時行うこと（密を避けるための注意等）
- ⑤体調不良者（特に発熱）がいる場合は、速やかに本部に報告すること。また、各学校で対応した後の事後措置についても報告を行うこと。
- ⑥消毒液等の準備をしておくこと。また、汗ふきやトイレの後などに使用する、ハンカチ

やタオルなど各個人で準備し、共用を避けるようにすること。

- ⑦ドリンクについては、チームでドリンクを準備する場合は、個人のコップ、それ以外はペットボトルなど回し飲み等がないように配慮すること。
- ⑧帰宅後、体調不良者がいないかどうか、把握する手立てをしておくこと。（各個人が顧問に報告する・マネージャー等が把握して顧問に報告するなど）。
- ⑨引率・顧問で審判の先生はすべて調整池に駐車すること。（電光掲示板裏からは許可車以外入場できない。）また、引率のみの先生は、メイン駐車場に駐車すること。

4 学校受付・開場・閉場時刻及び保護者入場時刻について

混雑・密を避けるため、以下の要領で時刻設定を行う。（入場口は3階正面ゲート）

開場時刻・・・午前8時00分（開場と同時に学校受付も実施する。）

学校受付・・・午前8時00分～8時30分

閉場時刻・・・ロアツソの大会があるので15時00分

保護者入場開始時刻・・・午前9時00分～

5 提出書類・保管用紙・連絡等について 【大会当日まで】

- ①各学校は大会1週間前から検温を開始し、体温・体調等を記録しておくこと。
（健康観察カードの利用→チーム・顧問で保管）
- ②参加者・補助員・応援部員は保護者同意書（別紙1-1）を提出し、顧問が保管しておくこと
- ③来場する保護者には顧問から、大会1週間前からの健康管理（検温）を実施するよう指導しておくこと。

【大会当日】

- ①大会当日3階受付に提出するもの
 - ・学校長の証明書（別紙1-2）
 - ・学校長印を押印した参加申込書（陸協ファイル）
 - ・参加者名簿（別紙2）
 - ・競技会参加のためのチェックシート
 - ・検温確認表【保護者名簿】（別紙3）
 - ・オーダー用紙

【大会後】

- ①健康観察カードに大会後2週間の検温・体調を記録しておくこと。
- ②部員と同時に保護者の健康状況も把握しておくこと。

6 応援について（保護者・応援観客・学校職員）について

- ①保護者の応援については、検温確認表（別紙3）を事前に提出した者に限る。また、入場できる数は、エントリー数の50%（奇数繰り上げ）までとする。そのID数を各チームに配布するので、その数の中で調整すること。
申込期日までに委員長（千々岩）宛て、名簿データ（別紙3）をメール送信すること。
事前申請には大会中、来場予定の全保護者名を記載すること。

(事前申請は、応援者がいない場合でも提出すること。)

大会当日は、検温を実施し、来場する名簿を提出すること。

※保護者応援 ID 規制を行います。

※メールアドレス : rsn61807@nifty.com

- ②上記以外の応援者は来場できません。会場内に入場できるのは事前に申請した保護者のみ。
- ③審判以外の顧問には、ID を配布する。その際、別紙2に氏名を記載しておくこと。
- ④保護者及び審判以外の顧問の ID は大会終了後、すべて回収します。各学校がまとめて、大会本部に返却すること。

7 保護者送迎・駐車場・学校バスについて

- ①審判員(各学校の顧問で審判員含む)はすべて調整池に駐車すること。その際、ヒライの弁当側から調整池へ入場すること。(電光掲示板裏からは許可車以外入場できない。)
- ②学校バス・貸し切りバスは、ヒライの弁当側からではなく、国体道路南北線(第3ゲートと第4ゲート間側)から入り、新駐車場に駐車すること。この駐車場には、バスのみ駐車可。普通車は絶対に駐車しないこと。この駐車場への入場は6時30分~10時00分までとし、その後はゲートを閉めるので、駐車場から出る際は、大会本部へ連絡すること。
- ③保護者の車(送迎を含む)は競技場内には一切入場できない。部員の送迎については競技場周辺の通行の妨げにならない場所での乗降を行うこと。

8 全体的な諸注意・連絡

- ①3Fゲートの移動については、可能な限り、学校名がわかるウェアでの移動をすること(選手・補助員・応援部員はウェアをIDの代わりとするため)。
- ②表彰式は実施しない。大会終了後の団体表彰(1位~3位)・各区分賞のみ実施する。
- ③学校待機場から1階競技場の通行はすべて階段を利用すること。
- ④エレベータは役員・補助員のみ使用すること。
- ⑤場内すべての場所での大声・気合い入れ等は禁止。
- ⑥各学校の写真業者は各学校顧問が委員長に事前申請をし、2週間前から検温を記録した業者のみ許可する。ただし、スタンドからの撮影のみとする。その際、高体連HP及び陸協HPに掲載の別紙4(来賓・報道用健康チェックカード)を大会当日、受付に業者本人が提出すること。

このガイドラインは、7月末の県下の新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、教育長・高体連からの各学校への通知文および日本陸連からロードレース再開に向けてのガイダンス等を考慮した上でのものです。今後の感染状況の変化や、熊本県・高体連・日本陸連等からの措置・指導・通知等により、無観客で実施するなどの対策をする場合があります。また、各学校への今後の連絡は陸協HPやFAXでお知らせいたします。